

☆平成 30 年度成績

●第 71 回兵庫県ウエイトリフティング選手権大会

平成 30 年 5 月 6 日 明石南高校

<女子>

48kg 級 優 勝 西浦実桜(2 年)

+75kg級 優 勝 大和明穂(2 年)

●平成 30 年度兵庫県高校総体

平成 30 年 6 月 2・3 日 明石南高校

<男子>

56 kg級 第 2 位 坂口颯基(2 年)

56 kg級 第 3 位 上杉義宏(3 年)

学校対抗の部 第 6 位

<女子>

48 kg級 第 2 位 西浦実桜(2 年)

58 kg級 第 3 位 構こころ(3 年)

58 kg級 第 4 位 弓岡郁菜子(3 年)

+75kg級 優 勝 大和明穂(2 年)

学校対抗の部 第 2 位

●第 51 回近畿高等学校選手権大会

平成 30 年 6 月 15～17 日 奈良県ジェイテクトアリーナ奈良

<男子>

56 kg級 第 3 位 坂口颯基(2 年)

56 kg級 第 4 位 上杉義宏(3 年)

<女子>

48 kg級 第 3 位 西浦実桜(2 年)

58 kg級 第 4 位 構こころ(3 年)

58 kg級 第 7 位 弓岡郁菜子(3 年)

+75kg級 優 勝 大和明穂(2 年)

女子学校対抗の部 第 2 位(5 年ぶり 6 回目の 2 位入賞)



●平成 30 年度第 20 回全国高等学校女子選手権大会の結果

平成 30 年 7 月 14～16 日 群馬県前橋市

48 kg級 第 6 位 西浦実桜(2 年)

58 kg級 第 15 位 構ころ(3 年)

58kg 級 失 格 弓岡郁菜子(3 年)

+75kg級 第 6 位 大和明穂(2 年)

学校対抗の部 第 16 位



●第 56 回全国高校総合体育大会の結果

平成 30 年 8 月 2～6 日 三重県亀山市西野公園体育館

56 kg級 第 14 位 坂口颯基(2 年)

開会式では昨年度の学校対抗の部 第 3 位のカップを返還しレプリカを拝受しました。



●第 57 回兵庫県高等学校新人選手権大会

平成 30 年 11 月 3・4 日 明石城西高校

<男子>

55 kg級 優 勝 坂口颯基(2 年)

61 kg級 第 5 位 上別府昇吾(1 年)

67kg 級 第 3 位 石橋遥(2 年)

73 kg級 第 3 位 越智亮太(2 年)

73kg 級 第 4 位 足立晴紀(2 年)

89kg 級 第 3 位 喜多川颯大(1 年)

学校対抗の部 第 3 位

<女子>

- 49kg級 優勝 西浦実桜(2年)
- 49kg級 第4位 小田歩佳(1年)
- 59kg級 第3位 菌畑妃依夏(1年)
- 64kg級 第2位 加藤南帆(1年)
- 76kg級 優勝 大和明穂(2年)

学校対抗の部 第1位(3年ぶり13回目)



●第10回全日本女子選抜大会

平成30年11月21・22日 茨城県高萩市文化会館

<高校の部>

- 48kg級 第4位 西浦実桜(2年)
- 58kg級 第12位 弓岡郁菜子(3年)
- 90kg級 第4位 大和明穂(2年)

●第23回近畿高等学校選抜大会

平成31年1月19・20日 和歌山県和歌山東高校

<男子>

- 55kg級 第3位 坂口颯基(2年)
- 73kg級 優勝 越智亮太(2年)

<女子>

- 48kg級 第2位 西浦実桜(2年)
- 59kg級 第2位 加藤南帆(1年)
- 76kg級 優勝 大和明穂(2年)



●第39回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会

平成31年3月8日 埼玉県立スポーツ総合センター

- 49kg級 第4位 西浦実桜(2年)

●第34回全国高等学校選抜大会

平成31年3月24～26日 金沢市総合体育館

<男子>

- 55kg級 第7位 坂口颯基(2年)

<女子>

- 49kg級 優勝 西浦実桜(2年)
- 76kg級 第3位 大和明穂(2年)



49キロ級西浦(須磨友が丘)が逆転優勝

重量挙げの女子では、49キロ級の西浦(須磨友が丘)と55キロ級の木村(明石南)が大分県別府ランキングを上回る活躍を見せ、全国大会で初の栄冠に輝いた。

西浦はスナッチを3本とも成功させて2位につけ、ジャークは3本目179kgを挙げて逆転勝ちした。13年続けてきた水泳から、高校1年の夏に重量挙げに転向。柔軟性を生かして練習に打ち込んだ努力が実を結び、「夢みたい。自分に勝つことが必死に頑張ってきた。思い切った競技を変えてよかった」と涙を弾ませた。



重量挙げ女子 55キロ級は木村(明石南)栄冠

木村はスナッチで自己ベストに並ぶ73kgを記録し、順調に前半を終えたが、ジャークは1本目186kgを成功させた後が失敗続き。「集中力を保てなかった。優勝できてうれしいが、悔しさもある」と納得しておらず、「夏までにトータルで10kg伸ばし、また全国優勝したい」と先を見据えた。

重量挙げ男子61キロ級優勝・大西裕也(県尼崎工)トータルで2位に28kg差をつける圧勝。「スナッチ、ジャークとも1本目で確実に優勝を決めてから自己ベストを狙ったが、いずれも3本目を成功させられず悔しい。今年は全国総体と団体でも勝ち、世界で戦うことを意識していきたい」

- 【男子】55キロ級 ①安藤徳郎(大分・大津大付) 208kg(スナッチ95kg、ジャーク113kg) ②坂口真也(須磨友が丘) 188kg、85kg ③山内文輝(明石南) 184kg、84kg、100kg ④大西裕也(兵庫・県尼崎工) 246kg、110kg、130kg、坂本秀斗(明石南) 246kg、110kg、130kg、⑤山下立真(石川・敦田) 250kg、114kg、130kg ⑥水島崇士(県尼崎工) 216kg、98kg、118kg
- 【女子】45キロ級 ①佐々木純(北海道・札幌学院大) 130kg、60kg、79kg、②西浦実穂(兵庫・須磨友が丘) 143kg、64kg、79kg、中山華恵(三木東) ③記録なし(記録なし)、④▽55キロ級 ①木村咲紀(明石南) 144kg、63kg、88kg、②名田愛香(明石南) 144kg、63kg、88kg、③大島加奈子(明石南) 136kg、60kg、75kg

重量挙げで優勝した(左から)明石南の木村咲紀、県尼崎工の大西裕也、須磨友が丘の西浦実穂(提供写真)